
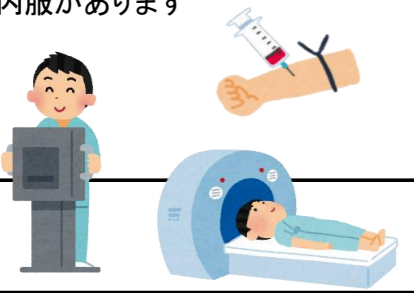


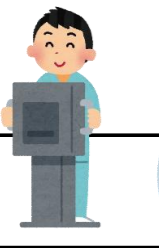













膀胱全摘術(回腸導管造設術)を受けられる方へ

患者ID: _____ 氏名: _____

主治医: _____ 担当医: _____

受持看護師: _____

病日	入院日	手術2日前	手術前日	(手術前)	手術当日	(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4~5日目	術後6~8日	術後9~11日	術後12~14日
目標	入院生活、検査、手術に対し医師、看護師の説明が理解出来る		手術の準備が出来る	不安なく手術を迎えることができる	疼痛コントロールができる	離床ができる		水分摂取ができる	尿量が確保される	食事が半分以上摂取できる	退院後の生活について理解出来る	パウチ交換が自分で出来る	
検査 処置 治療	<ul style="list-style-type: none"> レントゲン、採血、CT、MRIなどがあります 持参された薬を、一旦看護師に預けて頂きます 手術2日前より、毎食後に緩下剤の内服があります 		<ul style="list-style-type: none"> 14時に、マグロール(下剤)を内服します 眠前にも下剤を内服します 	<ul style="list-style-type: none"> 弾性ストッキングをはきます 手術部位に印を付けます 手術着に着替えて手術室に行きます 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素、心電図モニター、胃管(鼻から)、お腹の管、パウチ、点滴などが身体についています 痛み止めが持続的に入っています 血栓予防の機械が両足についています 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素、心電図モニターを外します お腹の動きを確認して胃管も外します 歩行が可能なら弾性ストッキングは脱いでかまいません 胸部、腹部のレントゲン撮影があります 	<ul style="list-style-type: none"> 痛み止めが終了します 	<ul style="list-style-type: none"> お腹の管を抜きます 食事摂取量を見て点滴を抜きます 抜糸をします 					
注射 点滴			午後、点滴を始めます							点滴終了です			
水分 食事	<ul style="list-style-type: none"> 特別な制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 昼食後から絶食になります 水分はかまいません 	<ul style="list-style-type: none"> 水分摂取について麻酔科医より説明があります (水分とは水、お茶に限ります) 		<ul style="list-style-type: none"> 9時より、水分摂取が可能になります 昼から抗凝固薬以外の内服は再開になります 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食より重湯が始まります 	<ul style="list-style-type: none"> 1日毎に、徐々に、形のある食事になっていきます 	普通食になります				
検温			10時 	6時	術後2時間毎くらいに全身状態の観察をします	6時・10時・19時	10・19時						
活動	活動制限はありません			眼鏡・入れ歯などは外します	翌朝までベッド上安静	朝から歩行可能です							
清潔	入浴可です		シャワー浴可です	 		身体を拭きます			シャワー浴可です				
ストーマ	WOC看護師の訪問あり、ストーマについての説明とマーキングがあります						パウチ交換します			4日目にパウチ交換します			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 医師による説明があります 同意書を提出して頂きます 必要物品を揃えて下さい □腹帯3枚 					スキントラブルの確認をします						腹帯は術後、約1ヶ月間(外来受診時まで)は装着して下さい	